

## 医療福祉・交通・防災の質を高める

### ●乗合タクシー運行事業 8,739万円

高齢者や高校生をはじめとした自家用車を利用できない人の日常生活における移動手段の確保を目指します。



### ●災害用備蓄品購入事業 4,455万円

令和7年5月に公表された石川県地震被害想定での避難所への避難者(約24,000人)が3日間過ごすために必要な物資を備蓄するため、既に確保している初日分を除き残り2日分のうち、2日目分の物資を追加で購入し、災害時に円滑に避難者に供給できるようにします。(3日目分は今後備蓄予定)



### ●橋梁長寿命化対策事業(点検・修繕)

3億9,945万円

法定点検結果に基づき作成された加賀市橋梁長寿命化修繕計画により健全度判定区分Ⅲ(道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態)以上の橋梁について第三者被害の防止・円滑な交通を確保するため修繕を実施し、橋梁の長寿命化を図ります。

### ●市道C第461号線道路災害復旧事業 (柴山町地内) 2億9,680万円

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、市内の多数市道が損傷し、市道C第461号線(柴山町地内)が被災したため、災害復旧工事を行い、道路交通の安全を図ります。



### ●柴山潟周辺整備事業 2,754万円

柴山潟の水辺空間と白山眺望を重要な観光資源と捉え、「柴山潟遊歩」による一体的な景観観光の整備により、温泉街の魅力向上を目指します。また、柴山潟周辺土地整備は、眺望景観の保全を第一に、防災機能を有した(仮称)柴山潟公園を整備するとともに、隣接する湖畔公園を拡張し柴山潟に接した拠点施設を整備し、湖岸遊歩道と結ぶことにより誘客を図ります。

## 未来へ繋ぐ強くしなやかな財政

### ●ふるさと納税推進事業 6億4,000万円

多様な地場産品を活用した返礼品の充実により、加賀市の魅力を全国へ発信するとともに、地場産業の活性化を推進いたします。民間事業者との連携を通じて寄附額13億円の確保を図り、「もっと住民が幸せな加賀市」を実現するための貴重な財源として活用してまいります。



## 子供に幸福、県ナンバーワンの教育都市の実現

### ●教育ビジョン推進事業

#### (1)自律した学び手を育てる事業 9,446万円

生涯にわたって自律した学び手を育てるため、学校教育ビジョン2023-2025から引き続き、学校と教育委員会がワンチームで子どもが主役の授業づくりに取り組みます。また、「デザイン」の思考法を取り入れ、さらに創造的な学校づくりや放課後改革を行うことで、自立した学び手を育てる環境を整備します。



#### (2)誰一人取り残さない事業 7,959万円

「それぞれのペースで、でもみんなで取り組める」活動をもっと増やし、不登校や発達上の支援を要する子ども、一斉型の授業が難しい子ども・簡単すぎる子どもなど、多様な子どもによりきめ細やかな支援をより早く届けることで、誰一人取り残さない環境を整備します。



#### (3)地域・保護者と一緒に事業 474万円

主体的・対話的で深いふるさと学習の在り方や学校の配置・規模のあり方など、地域・保護者の声を効率的に把握する環境を整備し、「みんな」で同じ方向を目指した事業を推進します。



#### (4)先生も幸せに事業 1,099万円

先生が子どもの教育に向き合う幸せ、家族や自分の大切な時間を過ごす幸せの両方を追求し、学校が子どもにも先生にもいい影響がある場所を目指し、教職員等の働き方改革を推進します。



### ●小中学校施設整備事業 1億1,329万円

経年劣化等により不具合が生じている小中学校の施設について、児童生徒が安全・安心で快適な環境で学習できるよう整備を行います。

### ●福祉人材確保・育成事業 1,108万円

市内の保育士および介護・障がい福祉人材の確保に向けて、就職奨励金の支給や就職説明会による人材確保、資格取得等の助成やハラスメント対策等の定着促進を行い、就業環境の改善等を促進します。

### ●児童発達支援体制検討事業 147万円

児童福祉法の改正により、従来の児童発達支援センターに地域の中核拠点となる機能が求められることとなり、現状を踏まえ、市全体の障がい児発達支援体制について検討を行い、今後のあり方について取りまとめます。

### ●歴史民俗収蔵庫資料移設事業 569万円

歴史民俗収蔵庫の解体に先立ち、応急的に所蔵資料を移設し、資料の保全を行うとともに、今後の所蔵資料の公開に向けて、展示場所や展示方法などの検討を行い、歴史や文化教育による郷土愛の醸成につなげます。